

## <第4299回>

目的地：石鎚山（四国）

担当者：熊谷

実施日：2022年10月14日（金）～16日（日）

形式：船中泊ハイキング

費用：¥24,730.-

参加者：5名

### 行程：

10月14日 天気：晴れ

大阪南港(22:00)＝(四国オレンジフェリー)⇒

10月15日 天気：晴れ時々曇り

⇒(6:00)東予港(6:20)＝(せとうちバス)⇒(6:50)伊予西条駅(7:50)＝(タクシー)⇒(8:29)石鎚山温泉(8:30)

⇒(8:34)山麓下谷駅(8:44)＝(ロープウェイ)⇒(8:52)山頂成就駅(9:02)⇒(9:21)石鎚神社中宮成就社(9:31)

⇒(10:27)前社ヶ森売店(10:53)⇒(11:07)夜明峠(11:13)⇒(11:33)二ノ鎖元小屋[昼食](11:53)⇒(12:05)石

鎚山・弥山(12:32)⇒(13:01)二ノ鎖元小屋(13:03)⇒(13:20)夜明峠(13:22)⇒(13:33)前社ヶ森売店(14:05)

⇒(15:06)石鎚神社中宮成就社(15:19)⇒(15:36)山頂成就駅(15:45)＝(ロープウェイ)⇒(15:53)山麓下谷駅

(15:55)－(16:10)石鎚山温泉[入浴](17:05)－(17:10)ロープウェイ前BS(17:41)＝(せとうちバス)⇒(18:25)

西条駅前 BS[西条祭り見学]西条駅前仮 BS(18:56)＝(せとうちバス)⇒周桑営業所 BS(乗換)⇒(19:26)吉井

BS(19:27)⇒(20:02)東予港[フェリー乗船後夕食](22:00)＝(四国オレンジフェリー)⇒

10月16日 天気：晴れ

⇒(6:00)大阪南港[フェリー内にて朝食](6:30)[解散]

### 感想：

10月14日

大阪南港フェリーターミナル待合室に21時に集合し、乗船手続をすませ乗船しました。待合室では登山ツアーの「パステルツアー」が机を並べて石鎚山コース(剣山コースも)の受付を行っていました。船内に移動しラウンジでミーティングを行い、翌日に伊予西条駅からタクシーにすぐ乗り少しでも早く登山開始しようとして説明しました。早目の出発で、余裕をもった行動をもくろんでいましたが・・・。

10月15日

本日は四国三大祭りの一つにもあげられる西条祭りの日でもあります。石鎚山に向かう途中付近にあるメイン会場伊曾乃神社には早朝からだんじり77台、みこし4台が奉納され、全国的にも例を見ない規模だそうです。東予港から伊予西条駅までの連絡バス車窓からは、宮出し後自由行動で町中に繰り出す何台ものだんじりが確認されました。それでも、駅まではたいして渋滞することなく予定通り到着することができました。

伊予西条駅到着後、早く登山を開始できるようタクシーを探します。1台目のタクシーはわりと早く見つけられ女性3人が先に移動しましたが、祭りの影響からか2台目のタクシーは全くやってきません。タクシー待ちの地元のひとと話をしたところ、「西条市民は西条祭りのために命をかけている」「私も祭りのために会社を休んで東京から来た」「市内の会社も、社員が祭りに参加するため、ほとんど休業している」「飲食店も従業員が祭り参加のためほぼ全て休業している」という話を聞き、西条市民の祭りにかける思いがひしひしと伝わってきました。このような状態で、タクシー会社に電話して呼び出そうともしましたが、1時間待っても全くつかまらず、バス乗り場に移動した矢先、市外のタクシーが駅に偶然立ち寄ったのをつかまえ、ようやくタクシーに乗ることができました。西条市内では、道の真ん中を練り歩くだんじりの後ろで追い抜く機会を伺ったりしましたが、山間部に入ると快適に移動できました。先発隊が機転を利かし、ロープウェイ駅で先に切符を購入し長い行列の順番待ちをして頂いたおかげで、なんとかバス経由より20分早いロープウェイに乗ることができ、少しでも出発時間を早めることができました。バスは定刻になってもきておらず多分遅延していたので、乗っていたら登山開始がかなり遅くなっていたと思われそうです。その他のハプニングもあり、登山開始までにかかなりエネルギーを消耗した感じでした。

山頂成就駅に予定より少し早く到着できましたが、なぜか、ロープウェイの最終便が予定より1時間早い17時発に変更になっていました。ここは標高1300m、乗り遅れてはマズいので、すぐ出発しました。石鎚神社中宮成就社は旅館や土産屋もある観光地です。ここには石鎚山の拝拝所があり、石鎚山が目前に姿を現し、これから出会えるであろう絶景に期待がふくらみます。神門をくぐり、いよいよ本格的な登山開始です。試しの鎖の入口を確認しつつ、前社ヶ森の売店へ。ここでSさんが不調となり、売店で休憩して待つこととなり、残りの4名で石鎚山に向けて出発しました。夜明峠までくると石鎚山がかなり近く見え、紅葉もきれいで、テンションが上がって行き、これまでの疲れもすっかり忘れていました。2週間前までの天気予報で降水確率100%の予報日があったりとやきもきしていましたが、天気も晴れ、気温も13～14℃ぐらいで過ごしやすかったです。この先から一～三の鎖の入口が順次姿をあらわします。二ノ鎖元小屋で手短かに

昼食をすませ、まき道を通り石鎚山頂へ向かいますが、まき道も岩場が多く、安全ですが鉄の階段は岩からせり出して空中を通っており、足元から下が見えなので、高所恐怖症の人には怖い道かもしれません。

石鎚山は人気の山だけあって、登山道も山頂もすごい人の数でした。山頂からの眺めは最高で天狗岳方面も紅葉しており、とても美しかったです。ただ、写真を撮ったあと、あつというまに雲がわいてきました。早立ちして正解です。西日本最高峰を堪能して、帰りのこともあるので早目にロープウェイ駅に向けて出発しました。前社ヶ森の売店へ戻り、すっかり回復しているSさんと合流しました。石鎚神社中宮成就社に戻り時間的にも余裕ができ、お店で土産を買ったりして、下山予定時刻より20分早いロープウェイで下山しました。ロープウェイから眺める瓶ヶ森の姿が印象的でした。

下山後、帰りのバスの時間を確認にロープウェイ前バス停へ。早く下山できたので、あきらめかけていた石鎚山温泉に入浴することができました。さて、最後の難関がここから東予港までのアプローチです。バス停で地元のおじさんから一本早い15時17分発のバスが、祭りの影響で1時間半ほど遅れ、先ほど出発したとの話を聞きました。タクシーもつかまりそうになく、バスのダイヤも大混乱しているようだったので、バス停でフェリーに無事乗るための方策をみんなで練ることとなりました。まず、予定していた21時24分西条駅前発のフェリー連絡バスは、「フェリーはバスが遅延していても定刻に出航する」とのことで、却下。また、「市内で夕食をとる」も市内の飲食店が祭りでほぼ休業しているようなので、フェリーで夕食をとることとしました。伊予西条駅に何時に到着できるかも不明でしたが、とりあえず伊予西条駅から東予港までのアプローチについて考えました。プランAとして、東予港最寄りのバス停まで路線バスで移動し、そこから東予港に歩く（これはまさかの事態に備え、一応確認していました）、プランBとして、祭りの影響のない鉄道で東予港最寄りの玉之江駅まで移動し、そこからプランAより少し距離はあるが東予港まで歩く（急遽調べました）、の2案のどちらかで東予港に向かうということとしました。温泉に入り腹も減ってきたので、とりあえずロープウェイ前バス停で持ってきた行動食等で小腹を満たし、伊予西条駅方面へのバスを待っていると、なんと定刻近くに西之川行きバスがあらわれ、折り返してくるので、これから1時間半待ちの事態は避けられました。ほどなくバスが到着し、20分遅れぐらいで出発することができました。

西条駅前には西条祭りのだんじりが集まる場所となっており、西条駅前バス停は仮バス停が、少し離れた場所に設置されていました。バスと鉄道の出発までちょうどよい接続時間だったので、とりあえず仮バス停まで移動したところ、せとうちバスの社員さんがあらわれ、「西条祭りに加え、今治のブルーインパルスのイベントで今治市内が大渋滞し、今治ー西条ー新居浜のバス含め、日中のバスダイヤが大混乱している」「しかし現在はバスは定刻どおりに戻っている」との話を聞いたので、安心してバスを待っていました。しかしバスはなかなか現れない。先ほどの社員さんが心配してくれていたようで、結局会社にバスの運行状況を電話で確認してくれました。この方も含め、四国の人々は皆さん大変親切でお世話になりました。バスを待っている間、西条駅前付近で多くのだんじりを見ることができ、夜の西条祭りも満喫することができました。

そして、20分遅れぐらいでようやくバスが到着し、周桑営業所でバスを乗り継ぎ、東予港最寄りの吉井バス停に19時半前に到着しました。そこから懐中電灯をつけて、真っ暗な夜の田舎道を40分弱かけて、おまけのナイトハイクをして、ほぼフェリーの乗船開始時刻の20時すぎに東予港に到着し、フェリー内でようやく夕食にありつけることとなりました。その後もお茶会等含め24時近くまで話し、今日1日さまざまなハプニングに遭遇しながら、なんとか無事に切り抜けつつ、山、紅葉、温泉、祭り、豪華客船とすべての見どころを満喫できたこと、今日の5時前から24時近くまで、大変密度の濃い1日だったことなど話をし、山行の余韻を最後まで楽しみました。

10月16日

翌日大阪港到着後も豪華客船内でみんなで朝食を楽しみました。大阪南港の通路の壁には、昨日見た石鎚山天狗岳の紅葉や西条祭りのポスターが貼られており、何だか感慨深かったです。いろいろなハプニングがありましたが、非常に充実した印象深い山行となりました。皆様どうもおつかれさまでした。

特記：

西条祭りの日と重なり、思っていた以上にいろんな影響がありました。事前にいろいろ調べていたので対応できましたが、もしきちんと調べていなかったら、帰りのフェリーに乗り損ねかねませんでした。ただ、現地に行き当日にならないとわからないことも多かったもので、とにかく早目早目に行動することが重要であると強く感じました。